

健康長寿  
ふくしま  
会議

# 健康経営ふくしまトップ会談

## 優良事業所表彰受賞3社と内堀知事 実践の意義共有



(左から)西山氏、内堀知事、内田氏、星氏

### 健康経営が企業経営の本質



内堀雅雄 知事

広くPRし、「一緒にやってみたいな」という事業所を増やしていきたいと思っています。

#### 総括

福島県は今、健康経営に力を入れています。東日本大震災と東京電力福島第一原発の事故、さらには新型コロナウイルス感染症の影響等により、例えばメタボリックシンドロームは全国ワースト四位、喫煙率はワースト三位にあるなど、本県の健康指標は良くありません。とりわけ働き盛りの世代で健康指標が良くないという現実があります。家庭において個人として健康に気を付けることも重要ですが、働く世代の方が多くの時間を過ごす職場において健康づくりを進めることが、結果的に個人の健康にも大きくプラスになると考えます。

今回、受賞された皆さんは健康経営のトップランナーです。特に新型コロナウイルス感染症は、従業員の方が誰か一人でも感染した場合、その職場全体に大きな影響が及びます。そのことを、私たちはこの二年間で嫌というほど経験しています。健康問題が個人の問題ではなく、事業所企業、工場、店、会社など全体の運営にも大きく関わるということを実感しています。そういう意味でも表彰を受けられた三社の皆さんの取り組みは他の企業にとって非常に参考になります。県内全体に

二〇二二(令和三年)度ふくしま健康経営優良事業所表彰を受けた有明郡山市、南双サービス(広野町)、星機械設計(郡山市)の代表者と内堀雅雄知事らによる「健康経営ふくしまトップ会談」は昨年十二月二十四日、福島市のウエディングエルティで開かれました。各社が企業発展の基礎として従業員の健康を第一に考えた経営の大切さを共有し、全県への波及を誓い合いました。

### 健康アプリ活用し運動促進



有明 代表取締役  
内田 善啓 氏

わが社は二〇二二(平成二十三年)の東日本大震災発生後、少しずつ健康経営に取り組み始めました。健康診断受診率100%の継続、インフルエンザ予防接種費用の全額会社負担、会社敷地内を全禁煙など、できることから取り組んできました。さらに活動の大きなきっかけとなったのは二〇一九年の台風19号による水害でした。弊社は冠水した郡山市の郡山中央工業団地内にあり、二、三層の浸水被害を受けました。全社員誰一人欠けることなく泥まみれになりながら復旧作業をしている姿を見た時に、会社を永続的に発展させるのは従業員が生き生きと働き続けることができる職場環境と健康増進に向けた基盤を作ることが重要だと考えました。

健康経営そのものを見直し、これまで以上に取り組みを加速させてきました。具体的には生活習慣病対策として血圧・体格指数(BMI)・体温を会社で測定しデータ化、各自の健康状態の把握を始めました。毎日行うことで少しの体の変化を各自が意識し、自ら健康づくりのきっかけを作ることができました。

また、運動促進として「ふくしま健民アプリ」で各自1日の目標歩数を設定し、アプリを利用して全員参加型健康イベントとして企業対抗バーチャルウォーク大会にも積極的に参加しました。郡山市内の企業と連携し年四回、スポーツトレーナーによる健康セミナーや運動指導を開催しました。

今回の受賞を機に新年度から新しい制度に取り組みようと思っております。各自が「健民アプリ」で多種多様な目標を設定し、それに対して会社としてポイントを付与し、できればポイントを社内通貨などに変えて、会社に設置している健康食品の販売機で使えるようにしたいです。

### 2次検診受診率100%を実現



福島民報社  
南双サービス 代表取締役社長  
西山 和幸 氏

わが社の特長は労働集約型で、それゆえ人が財産であり、従業員の健康こそが事業活動の原動力となっています。しかしながら従業員の健康状態に目を向けて見ますと、車中心の生活による運動不足も手伝い、高血圧症や高脂血症など生活習慣病の有病者や予備軍の割合が多いという実態となりました。

そこで、このままではいけないという強い危機感から健康づくりに会社が主導して取り組むことにしました。具体的には経営方針に健康経営の実践を盛り込みました。その上で各年度に作成する事業計画に具体的な取り組みを規定しました。その一つが疾病の早期発見・早期治療を目的とした2次検診100%の実現です。会社としては2次検診を受診する

ための仕組みづくりが大事だと考え、2次検診費用と人間ドック費用を全額会社負担としました。本人が受診できるような管理職を中心に面談を行い、勧奨を継続しました。二〇一九年度は受診率は25%でした。次年度は75%、そして二〇二二年度は100%となりました。

さらに従業員の歩く機会を一方的に増やすため、「ふくしま健民アプリ」の導入を進めています。各種イベントに参加し社内でもウォーキングを推奨しています。

健康づくりのキーワードは「継続」だと思っています。継続するためにはいろいろな手法はあると思いますが、一番大事なのは経営トップの固い決意です。健康づくりの大切さを訴え、自ら実践することが重要です。苦行ではなく、楽しみながら生活の中に根付かせることも大切だと思っています。経営者が常に呼び掛け、そして従業員も楽しみながら取り組むことが結果として出てきます。結果が出るまでいかに続けられるかがポイントだと思っています。

### カロリー計算した食事提供



星機設計 代表取締役  
星 照幸 氏

社員が急に体調を崩す事例が相次いだのをきっかけに、健康づくりの取り組みを始めました。同じことを繰り返さないため、社員の体調の異変を見逃さないよう確認できる仕組みづくりに努めてきました。社員の健康診断の結果、高血圧や肥満、糖尿病などの疾病が多かったため、受診後の再検査などの必要性を伝えていました。ただ、健康診断だけでは全ての問題を解決できないと考えました。

十代から七十代までの社員の中には独身者が少なくありません。食生活の改善に向けて、管理栄養士がカロリー計算した食事の提供を実施しています。朝食をはじめ、残業時の食事や出社した社員へ勤務前にも提供するなどとしています。全国健康保険協会(協会)

んぼ)福島支部による出前講座も有効に活用しています。座ったままの業務が多いのでウォーキングやストレッチ講座などを実施しています。仕事の合間にこまめにストレッチをしている様子も見られるようになりました。車から徒歩での通勤に移る社員も増えています。就業時間中に社員のお好みで健康セミナーを月三時間程度見てもらうことなど心掛けています。二十代や三十代の社員からも体重や血圧が減った、タバコを減らしたという話が出て手応えを感じています。

今後は身体的な支えだけでなく、包括的なケアができるような体制を整えていきたいと考えています。元氣な表情を見せている社員でも、精神的な悩みを抱えている場合があります。そういった問題に寄り添うため、メンタルサポートの仕組みづくりにチャレンジしていきたいです。健康経営の仕組みが成熟していけばトップダウンだけでなく、社員による健康委員会などをつくりポトムアップの発信に転換していきたいです。

### 地域資源の共創が健康経営を進める



東京大学未来ビジョン研究センター  
特任教授  
自治医科大学 客員教授  
古井 祐司 氏

今年度が四回目となった福島県の健康経営優良事業所認定では、健康経営による実績をメタボリックシンドローム該当者の割合や喫煙率、2次検診の受診率といった数値で示す企業が多くなりました。そのおかげで、私たち審査する側は客観的に評価できるだけでなく、効果的な取り組みを抽出し、次に続く県内の企業にノウハウとして共有しやすいというメリットもあります。

全国でも先行して健康経営施策を進める福島県では、職場の健康課題をデータで捉え、取り組んだ成果をデータで示すことが当たり前になってきました。これは、全国健康保険協会(協会)けんぽなど医療保険者のデータヘルズ計画によるサポートも推進力になっています。成果が見え始めた福島県

### ふくしま健康経営優良事業所認定・表彰フロー



健康事業所宣言及び事前審査の実施については、協会けんぽ福島支部または全国土木建築国民健康保険組合(けんぽ)で行います。

認定基準等については「ふくしま健康経営優良事業所認定実施要綱」を御覧ください。

また、表彰の取扱いについては、「ふくしま健康経営優良事業所表彰要綱」及び「ふくしま健康経営優良事業所表彰に関する選考取扱い」を御覧ください。

### ふくしま健康経営優良事業所認定基準

区分	項目番号	評価項目	条件	評価基準
事業主・経営責任者の発信	1	経営者が従業員の健康増進等に努める意思を宣言し明文化していること。	している	必須
	2	過去3年以内に労働基準法、労働安全衛生法など、従業員の健康管理に関連する法令などで違反していないこと。	違反していない	必須
	3	従業員の健康増進を図るための組織的位置づけがある、または担当者を設置していること。	している	必須
健康経営推進体制	4	従業員の健康増進を図るため、健康に関する研修会や健康情報の配信などの取り組みを実施していること。	している	必須
	5	従業員の食生活改善又は運動機会を増加させる取り組みをしていること。	している	必須
	6	「ふくしま健民バスポート事業」に参加、または参加するように奨励していること。	している	必須
心と身体の健康づくりの具体策	7	事業所全てでの敷地内完全禁煙、屋内完全禁煙及び禁煙支援策の実施など禁煙に関する取り組みをしていること。	している	必須
	8	超過勤務の削減や休暇の積極的な取得などに関する取り組みをしていること。	している	必須
	9	メンタルヘルズ不調者に対する相談窓口の設置、または支援体制を整備していること。	している	必須
健康課題の把握	10	年1回の定期検診及び40歳以上の特定検診受診率を把握していること。	している	必須
	11	ストレスチェックを実施していること。	している	従業員50人以上事業所のみ必須
取り組み結果	12	健康課題への取り組みの成果をデータで確認していること。	している	必須
	13	健康課題への取り組みの結果から、今後の取り組み方針を考えていること。	している	必須
その他	14	保険者のふくしま健康経営優良事業所認定の推薦基準において、評価点数が50人以上の事業所で総計の7割以上、50人未満の事業所で合計の6割以上であること。	している	必須

※【 】内は例年の目安となる時期を記載しています。実際の実施時期は異なる場合があります。